



子どもたちに大人気のスライダープール=香芝市総合プール

8

2011

No.530

PUBLIC INFORMATION

発行 香芝市役所

〒639-0292 奈良県香芝市本町1397番地

☎0745-76-2001(代表)

広報 KASHIBA

かしば



カッシー

香芝市民憲章

香芝市は、悠久のシンボルである二上山の恵みを受けた豊かな生活と歴史をもち、明るく未来社会にむかつて歩みつけているまちです。

わたしたち香芝市民は、生きる喜びとやすらぎのあるまちづくりをめざして、ここに市民憲章を定めます。

一、自然を大切に、美しいまちをつくりまします。

一、であいを大切に、共に生きるまちをつくりまします。

一、いのちを大切に、住みよいまちをつくりまします。

一、伝統を生かし、新しい文化の香るまちをつくりまします。

一、元気な「ひと」を育て、希望あふれるまちをつくりまします。

もくじ

- 2 住民みんながボランティア
- 6 地域みんなで地震に備える
- 8 1カ月のできごと
- 9 マイヘルスマイライフ
- 10 みんなの国保・消費生活Q & A
- 11 市民ペンリレー

特集

住民みんながボランティア

パート2 このまちが好きだから



香芝市には約76,600人もの方が暮らしています。

7月号・8月号で紹介しているボランティアは19団体だけど、このまちには、もっともっとたくさんの方が活動しています。団体に所属していても、していなくても、誰かが喜ぶことをすれば、それはもうボランティアになっています。

私たちは気付かないうちに、みんなを支え、みんなに支えられて暮らしています。

合言葉は…住民みんながボランティア！

まちを美しく



シニアボランティアぼちぼち

いつまでも美しいまちを守りたい

黄色のジャケットがトレードマーク



▲みんなで集めたゴミ



「自分たちの住むまちだからこそ、自分たちできれいにしよう。」という思いで、多くの方が、地域で、学校で、個人で、自主的に清掃されています。その中で、市内の駅周辺の清掃活動をされているのが、「シニアボランティアぼちぼち」のみなさんです。

額に大粒の汗をかきながら、くまなくゴミを拾って歩きます。「掃除をしていると、通行人のかたが、ありがとうございます。と、声を掛けてくださることもあります。そういう声はやっぱりうれしいですし、次の活動への活力になりますね。」と、話されます。

代表の常光文男さんは、「最近ほ、



▲今日が初参加のボランティアさんも。参加したきっかけは、「通勤で利用していた二上駅に恩返しがあった！」

地域住民のみなさんも「ゴミを拾ってくださったので、きれいになってきたな」と感じます。これからも、その名のとおり「ぼちぼち」とではあるけれど、活動を継続し、いつ見てもきれいなまちにしたいですね。」と、笑顔でこたえてくださいました。

花でいっぱい 住民がづくりのまち

国道165号線から中和幹線へ抜ける道路に入ると、色とりどりの花が迎えてくれます。この花を植えているのが、「西真美花の会」のみなさんです。「自分たちの住んでいるまちを花でいっぱいにし、みんなが気持ちよく暮らせるまちにしたい。」という思いで始まったこの活動も、18年目となりました。道路わきの花壇の整備のほか、地域の公園内の花壇も整備されています。



住んでいてよかった
そう思えるまちにしたい

西真美花の会

▼約40花壇に200株もの花を植えています。春・秋2回植え替え、まちを明るく彩っています。

現在は
ポチュラカが
咲いています。



▲真美ヶ丘西小学校の児童と交流し、一緒に苗植えをする活動も行っています。

「夏場の水やりや草取りなど、大変な作業も多いけど、住民みんなが、私のまちはきれいだな。住んでいてよかったな。」と思えるようにしたいんです。」と、話されます。また、花壇を整備し始めてから、空き缶のポイ捨てが減ったことも大きな成果だそうです。「まちがきれいになると、そのまちを好きになる。好きになると、そのまちを大切にします。そういうことだと思います。」

今後この活動を続け、まち中が花でいっぱいであり続けるのが夢だそうです。

まちを元気に

ボランティア活動を続ける中で得たものは、仲間ができたこと！

特に私たち男性は、外で仕事をしていると地域のかたと関わる機会がなかなかありませんでした。この活動に携わることで横の繋がりもできたし、みんなで自分たちの地域のことを考えるきっかけにもなりました。

「下田夏祭り実行委員会」は、下田小学校区全体を対象とした夏祭りを企画し、そのような場を提供しているボランティア団体です。

地域住民が世代間を越えて集まり、楽しい一時を過ごすことで、人々との繋がりが生まれ、地域は元気になります。

8月開催の夏祭りに向けて5月ごろから会議を重ね、楽しい夏祭りになるよう、みんなでアイデアを出し合います。そこに、各自治会や小学校・幼稚園、地元企業の協力が合わさり、下田夏祭り、が完成します。

当日は、子どもから大人まで多くのかたが来場し、焼きそばを食べたり、

ダンスを楽しんだり、笑顔がたくさんみられます。



下田夏祭り実行委員会

このまちの良き思い出と
なるような夏祭りを！



▲今年はステージを設けて「〇×クイズ」などを開催。メンバーのアイデアで始まった音楽に合わせての打ち上げ花火は、今や名物！



郷土を知ろう



博物館ボランティアガイドの会

目標は親しみやすく
愛される博物館にすること！

香芝のことを 楽しく伝える

香芝市には、サヌカイトや金剛砂などの石の歴史があり、二上山博物館はそれらを展示する全国でも珍しい石の博物館です。そこで活躍するのが、「博物館ボランティアガイドの会」と「博物館ボランティアすみれ会」のみなさんです。

「ガイドの会」では、博物館内と市内の文化財の案内をされています。「この土地の魅力を、みなさんにお伝えしています。初めて博物館を訪れ

た人でも楽しく見学できるように、分かりやすく伝えることを心がけています。そうなんだーそれは知らなかった！というお客さんの反応があると、うれしいですね。」と、話されます。

また、子どもたちに昔のことに関心をもってもらうための「火おこし体験」や「勾玉づくり」などのイベントも開催されています。

「すみれ会」では、博物館にある膨大な写真や資料を、どこに何があるのかをナンバリングしたり、関係資料の収集作業を行っています。

チームで活動する楽しさ

このボランティア活動の魅力について聞くと、「それぞれの趣味や特技を活かし、あれこれ相談しながら、自分たちも楽しんで活動しています。」とのこと。

また、数年前から男性ボランティアも増えてきたことで、活動の幅が広がり、「ガイドの会」と「すみれ会」で連携したイベント開催などの活動もされています。



ガイドは土・日・祝日に行っています。楽しい話を聞きながら、香芝を再発見してください！

火おこし体験のようす



博物館ボランティアすみれ会



みんなで健康に

市民みんなが健康であり長寿でいられるように、そしてまち全体がいきいきと活力あふれるまちでいられるように活動しているのは、「食生活改善推進員協議会」と「健康運動普及推進員協議会」のみなさんです。

「食生活改善推進員協議会」では、食生活に関する知恵袋や親子の食育など、「食」を通じた健康づくりの活動を行っています。また、「健康運動普及推進員協議会」では、自分たちで企画した体操やウォーキングなど、「運動」を通じた健康づくりの活動を行っています。

どちらのボランティアさんも、一人ひとりができる健康づくりを共に考え、行動できるよう、一緒に楽しみながら計画を立て、自らが企画し取り組んでいます。

体を動かす
楽しさを伝えます！



健康運動普及推進員協議会

食育について
一緒に楽しく
考えましょう！



食生活改善推進員協議会

災害ボランティア



被災されたかたが
1歩前へ進めるように

すよ。「被災地のために何かしたい。」という気持ちで動けば、その全ての行動が被災地の力になっていくんです。あるとき、被災されたかたとお話をしていたら、最初は険しかった顔がどんどん笑顔になっていきました。人はしんどいとき、誰かに話を聞いてもらうだけで救われる瞬間があるのだと、そのとき実感しました。災害ボランティアには、そういう力もあるのです。

災害ボランティア 第2の役割

ボランティアで駆けつけた被災地のかたは、奈良県で大きな災害があったとき、きつと同じように駆けつけてくれるはずですよ。ボランティア先では、そういう強い繋がりも生まれています。私はこれもまた、災害ボランティアの役割だと思っています。

地震や洪水などの災害が起こったとき、被災されたかたを支援する災害ボランティア。その果たす役割はとても重要であるといわれています。

香芝市にも、災害ボランティアとして活動している団体があります。その一つである「香芝市災害ボランティア」の奥田仁さんにお話を伺いました。

「大変でしょう？」と、よく聞かれます。確かに、被災状況にとまどったり、体力的に厳しいこともあります。ボランティア同士も助け合いながら活動しています。

それに、体力仕事だけではないので



奥田 仁さん

ボランティアのことなら

ボランティアセンターへ

ボランティア活動の相談や活動先の紹介を行っています。お気軽にお越しください。

◆開所日時 月・火・水・金・土 午前9時～午後4時
(祝日・年末年始は休み)

◆場所 逢坂1-374-1 (総合福祉センター1階)

◆電話・FAX 76-7179

◆メール vcenter@pure.ocn.ne.jp



住民みんなで繋がる 「香芝」をめざして

香芝市ボランティアセンターでは、「ボランティア活動をしたい人」と「手助けして欲しい人」を繋いでいます。他にも「活動に関する相談」、「研修会の企画」などを行っています。また、来所者同士が情報を交換したり、悩みを聞きあうなど交流の場にもなっています。

ボランティア活動から得るものはいろいろありますが、仲間の輪が広がることで、自ら地域での課題を見つけ、知恵を出し合い問題の解決の糸口を見つけることができます。いざと言う時にすぐに団結できるといふ地域の力も付いてくるのです。点と点が繋がり線になり、線と線が繋がり面になり一つになる。ボランティア活動を通してそんな「香芝」になればいいと思っています。



ボランティアセンター
職員 村松さん



もしも地震が起こったら… 地域みんなで地震に備える

東北地方太平洋沖地震、また平成7年の阪神・淡路大震災においても、地域住民が協力し合って、人命を救出した事例がいくつもみられました。

地域のコミュニティー活動が活発な地域は災害にも強いと言われていました。一人ひとりがバラバラに動いても一人の力には限界があり、かえって危険な場合もあります。みんなで助け合い、協力し合うことにより、はじめて一人ひとりの力がいきてくるのです。

もし大規模地震が発生したら、まちはどうなるでしょうか。

建物が倒壊し、電話が不通となり、道路や水道などのライフラインが寸断され、防災関係機関による救出救護活動が十分に機能しなくなることが予測されます。その際、重要となるのが「地域の防災力」です。

大切なのは「地域の防災力」

3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生しました。地震被害に加え津波被害も甚大で、多くの命が亡くなり、何の前触れもなく発生する地震の恐ろしさに、日本国中が震えました。

近年、奈良県では大きな地震被害はありませんが、「東南海・南海地震」や「中央構造線断層帯」を震源とする地震発生の可能性が指摘されています。いつ起こるか分からない地震に対して、私たちは今、何を備えておくべきなのでしょうか。

もし災害が起こったら、まずは自らの命と家族の命を守ってください。そして次に、近隣住民と地域を守ることがをわすれないでください。

あなたのまちの自主防災

香芝市でも、各地域で、住民による防災活動が積極的に行われています。「自主防災組織」を組み、防災物資の準備や防災訓練などを組織的に行っている地域もあります。

訓練・講習に参加していますか

地域の取り組み その①

災害時の消火活動も救助活動も円滑にするためには、普段からの交流と訓練が大切です。

自主防災組織と市や消防署、消防団、赤十字奉仕団などの関係機関と防災訓練や救急救命講習などを行っている地域もありますので、みなさん誘い合い、進んで参加しましょう。





地域に期待される活動と役割

発生直後〜数時間後	<ul style="list-style-type: none"> ○まずは本人と家族の安全を確保 ○近隣住民の協力を求め初期消火活動 ○救出活動 ○負傷者の応急手当や医療機関・救護所への搬送 ○避難状況を住民に伝達し、避難所まで誘導
数日後	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な物資の把握と救援物資の受入れ・配分 ○炊き出しなどの給食と給水活動 ○避難中の防犯活動 ○ボランティア活動のニーズの把握

市や消防署などの関係機関と地域が連携することで被害を最小限に食い止めることができるよう、日ごろから対応方法を考えておきましょう。



地域の取り組みその②
防災物資の備蓄
 災害時になくってはならないのが各種の防災物資や機材です。市では、市内の小・中学校の体育館にそれらを備蓄していますが、各

☆災害には、地域みんなで備えることが大切です。
 「自主防災組織の設立」「防災訓練の実施」などのご相談は、市役所防災安全課（☎76-2001 内線123）まで。

地域の自主防災組織でも、独自に準備されているところもあります。そして、まずはご自身の非常持ち出し品を準備することが大切です。日ごろから確認しておきましょう。
 (写真は、発電機・災害用毛布・救急箱などが整備された地域の備蓄倉庫)

**「今回の経験を活かし、本市の災害対策に役立ちたい」
 東北大震災被災地への派遣職員による報告会を開催**

3月11日に起こった大地震。

本市では、給水支援のため震災直後から5月にわたり上下水道部の職員14名を交替で岩手県陸前高田市に派遣し、給水タンク車による給水活動を行いました。

このほか、避難所での被災者の健康管理などの支援を行うため保健師を宮城県気仙沼市へ、り災証明のための建物被害認定調査を支援するため職員2名を宮城県多賀城市へ派遣しました。また、社会福祉協議会からも職員を派遣され、気仙沼市のボランティアセンターの運営スタッフとして支援を行いました。

報告会では、派遣された4名の職員から参加した他の職員に、現地の写真などを交え、体験談や直に感じたことなどを伝えました。

「冬装備をしていない給水車が引き返すのを見て、出発前に、スタッドレスタイヤを装着していきよかったです。想定や準備の重要性を痛感した。」また、「通信手段が寸断された状況下では、古い情報や信用性の低い情報であっても、その情報に左右されてしまいがち。



刻々と変わる状況に的確に対応するためには、できるだけ多くの情報収集をし、判断することの重要性を感じた。」などの報告のほか、避難所に慰問関係者が大勢入場することで、避難所生活者のプライバシーを保てないなど、慰問の受け方について課題を感じたという意見もありました。

本市では、今回の想定外の災害の発生を受け、防災計画の再点検・見直しを行っており、災害対策体制の更なる充実を図り、安心・安全のまちづくりを進めています。



保育所に図書をお届け 市民図書館による巡回文庫

子どもたちに本に接する機会を増やしてもらおうと、市民図書館が約200冊の図書を持って保育所へ出向き、貸し出しする「巡回文庫」を始めました。

教室にずらりと並べられた図書の中から、子どもたちは自分で好きな図書を選びます。「ぼくは恐竜の本が読みたい。」「絵がかわいいから。」など、思い思いに借りた本を早速開いて読む姿がみられました。

この「巡回文庫」は、市立保育所を順番に回ります。次にやって来る日を楽しみにしていただきたいと思います。

中学校の合唱部と吹奏楽部による フレンドシップコンサート

7月17日(日)、モナミホールで、市立中学校4校の合唱部と吹奏楽部が合同で行うコンサート「第25回フレンドシップコンサート」が開催されました。

ほぼ満席となったモナミホールの観客を前に、STAGE 1では合唱部がのびやかな美しい歌声を、STAGE 2では吹奏楽部が迫力ある演奏を披露しました。

生徒たちは、部活動での練習成果を存分に発揮し、魅力いっぱいのステージとなりました。



人権を考える香芝市民集会

7月23日(土)、平成23年度「人権を考える香芝市民集会」をふたかみ文化センター市民ホールで開催しました。

今年度は、吉田智弥さん脚本のひとり芝居「メビウスの輪の外へ」の上演が行われました。

いじめ問題をテーマにしたお芝居で、いじめる側に焦点を当てるといった新しい試みの内容で、出演の西元完代さんは、1時間20分を超える芝居を一人で熱演されていました。

また、ふたかみ文化センターのロビーでは、市内小学生が描いた人権啓発ポスターの作品展もありました。



中央公民館と二上山博物館で 夏休み子どもイベント開催

7月・8月は、子どもたちにいろんなことを体験してもらおうと、小学生を対象としたさまざまな夏休みイベントが、中央公民館と二上山博物館で開催されています。

参加した子どもたちは、お弁当づくりや昔ながらの火おこし体験など、初めての体験に緊張しながらも、目を輝かせてチャレンジしていました。「全部自分で作った料理だからおいしい!」「火おこしなんて初めてで難しかったけど、成功してうれしかった!」など、夏休みのよい思い出となったようです。



平成22年 香芝市データ



健康だから、がん検診を

死因別死亡者数

順位	がんの部位	死亡者数
1位	がん	151人 (37.4%)
2位	心疾患	59人 (14.6%)
3位	脳血管疾患	38人 (9.4%)

(死亡者総数404人)

がんの部位別死亡者数

順位	がんの部位	死亡者数
1位	気管支・肺	43人 (28.5%)
2位	胃	25人 (16.6%)
3位	大腸	15人 (9.9%)

(がんによる死亡者総数151人)

「わたしは、がんになるはずはない」「自覚症状が無いから大丈夫」「がんだと分かったら怖い」などと考え、がん検診を避けていませんか。がんになるかどうかは、自分では分かりません。そのため、定期的に検診を受け、早期に発見できるようにすることが必要です。

がん検診ってどんなことなの？

がん検診って一体どんなことをするのでしょか。「何を調べるのかな」「痛い検査があるのかな」など、初めて受けるかたには不安も多いものです。

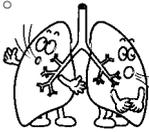
次に、各がん検診の検査内容を一部紹介しますので、参考にしてください。

肺がん検診

男女ともに、20歳以上は年に1回受けましょう。

(胸部レントゲン検査と喀痰細胞診)

「胸部レントゲン検査」は、肺全体のレントゲン撮影です。「喀痰細胞診」は、主に喫煙者を対象として「胸部レントゲン検査」とあわせて行う検査で、気管支などのがんから痰に混じって出てくるがん細胞の有無を顕微鏡で観察します。



胃がん検診

男女ともに、35歳以上は年に1回受けましょう。

(胃レントゲン検査)

バリウム(造影剤)と発泡剤(胃を膨らませる薬)を飲み、胃の中の粘膜を観察する検査です。胃がんを見つけることが目的ですが、良性の病気である潰瘍(かいよう)やポリープも発見されます。



大腸がん検診

男女ともに、40歳以上は年に1回受けましょう。

(便潜血検査)

大腸疾患があると、大腸内に出血することがあります。この検査は、便を調べて、その血液を検出する検査です。検査が陽性の場合、精密検査を受けることが大事です。

子宮頸がん検診

20歳以上の女性は、2年に1回受けましょう。

(細胞診)

婦人科の専門医によって、子宮頸部の粘膜を採取して検査することで、がん細胞の有無やがん細胞の種類を知ることができます。

乳がん検診

40歳以上の女性は、2年に1回受け

けましょう。
(マンモグラフィと視触診)

「マンモグラフィ」は、乳房レントゲン撮影のことで、医師の視触診だけでは発見できないしこりを診断することが出来ます。小さな、特に石灰化のある乳がんの発見に適しています。このほか、乳房の良性疾患などが診断できます。

☆がん検診を

受けたいと思ったら☆

香芝市では、各種がん検診の個別・集団検診を随時実施しています。実施日は、広報かしばお知らせ版の「保健センターからのお知らせ」に掲載していますので、ご覧ください。

検診を受けるときの注意

検診は、症状の無い人を対象に行っていることを忘れないでください。何か自覚症状がある人は、まずは医療機関を受診することをおすすめします。

検診後は必ず結果を確認し、「精密検査が必要」の場合は、すみやかに病院で受診し、自分の状況を診断してもらい、必要な治療を受けることが大切です。(精密検査の結果、異常なしと診断される場合や他の病気が発見される場合もあります。)

▼問合先

保健センター ☎ 77-3965

みんなの国保

接骨院や整骨院に

かかるとき

接骨院・整骨院は、国家資格をもつ「柔道整復師」が施術を行う施設です。

医療機関ではありませんが、柔道整復師の施術を受ける場合は、保険証を提示し、一部負担金を支払うだけで受診できます。

ただし、接骨院・整骨院で保険を使って施術を受けられるのは、外傷性のけがの場合に限られます。内科的原因によるもの、慢性的な症状には保険が使えませんので、注意してください。

保険が使える場合

○外部からの要因による打撲・ねんざ・挫傷（転倒による打撲、スポーツでのねんざ、重いものを持ったときの腰痛など）

○骨折・脱臼の応急手当

*2回目以降は医師の同意が必要です。



保険が使えない場合

(上記以外のもの)

○疲労や年齢からくる肩こりや腰痛など

○スポーツや仕事、家事などによる筋肉疲労

○打撲やねんざが直ったあとのマッサージ

○神経痛、リウマチ、関節炎、ヘルニアなどの病気が原因の痛み

○保険医療機関で治療中のものなど

香芝市では、整骨院などの施術に対して調査を行うことになりました。それに伴い、被保険者の方にアンケートを送付することがあります。アンケートが届きましたら、ご協力いただきますようお願いいたします。

▼問合先 総合福祉センター保険医療課 ☎79-17528

熱中症にご注意を!!

熱中症の発生しやすい時期ですので、十分注意してください。特に、高齢者や乳幼児、体調のすぐれない方は、水分や塩分を補給し、冷房を適切に使用するなど、熱中症にならないよう注意しましょう。

消費生活Q&A

新聞の購読契約、契約書は大事に保管しましょう

Q

①同居していた父が亡くなり、世帯主である私の名前で5年間の新聞契約をしていたことがわかった。契約時にサービスタとして炊飯器をもらっていた。父が契約をしたのだから、解約したい。
②今月で購読期間が終わるので、別の新聞店と契約したところが、今の新聞店と引き続き契約していると、契約書のコピーを見せられた。確かに自分の字だし、うっすら契約したことも思い出した。しかし、まだ契約期間が始まっているので解約したいと申し出ると、違約金を請求された。

A

最近、新聞の相談が増えていきます。契約したことを忘れて二重に契約したり、生活状況が変化して購読できなくなったりという相談がよくあります。

お互いの意思が合致した契約は守らなくてはなりません。解約するには正当な理由が必要ですので、渡された契約書はしっかり確認し、大切に保管しましょう。

相談①の場合、実際に契約書を書いたのは父親ですが、これ

まですつと父親に新聞契約をまかせていたということで、勝手にしたことから知らないとは言えません。

また、相談②のように配達開始前だからといって当然に解約できるものではありません。いづれも新聞店とよく話し合う必要があります。

2年後3年後から開始の契約や、長期間にわたる契約は、トラブルのもとになります。慎重に考えて契約しましょう。

おかげさまで感じたら「消費生活相談」へ!!

- ◆開催日 毎週火曜日（祝日の場合は翌日）
 - ◆時間 午前10時～正午、午後1時～3時
 - ◆場所 市役所会議室棟会議室 ※開催当日、電話でも相談を受け付けています。（市役所 ☎76-20001）
- ☆消費者ホットライン（☎0570-064-370）もご利用ください。（年末年始を除く毎日）

てんいち先生



「てんいち先生」の「てんいち」は、「毎月11日は人権を確かめあう日」の11（英語のテン“10”とイチ“1”）からネーミングされています。



私の目標

吉田めぐみさん

香芝市に引っ越してきて1年と4カ月。子供を通じてどんどん仲間が広がり、“市民ペンリレー”の順番も回ってきました！

今回、この場をお借りして、私のお気に入りの話をご紹介します。

それは、「今、目の前に見えている物、例えば“家”や“机”に“ペン”、全ての物が元々は誰かの頭の中にありました。頭の中でイメージされたものが努力と共に形となり、目に見える物として存在しているのです。形のないものも同じで、“理想”や“目標”、“夢”なども、頭の中で描き続けると、少しずつ実際に目に見えるものとなっていきますよ。」というものです。

私自信を振り返ってみると、毎日楽しく過ごしている一方で、家族が増え子供が成長するにつれ、“自分の役割”、“自分の人生”、“自分らしさ”に対して、“今の自分”は…と考える事も増えてきました。家族全体を通して物事を考える事が当然の様になってきましたが、“自分らしさ”を常に頭の中に描きつつ、いつでも“自分らしく居られる人”を目標にしたいと思います。

皆さまは頭の中に何を描かれますか？少しずつ目に見えるものになっていくと素敵ですね。

次回は山下さんにリレーされます。

ペンリレーは市民の皆さんに、日ごろ感じていること、体験したことなどを自由に書いていただくコーナーです。次回のかたは、執筆者からバトンタッチされます。

市のようす …7月末日現在…

人口 76,558人(前月比+82)
男 36,766人/女 39,792人
世帯数 28,144世帯(前月比+30)
(住民基本台帳人口+外国人登録人口)

編集後記

8月の風物詩といえば、夏祭りや花火大会！市内各地域をはじめ、県内外の祭りや花火大会に行かれたかたも大勢おられることと思います。私は、今月号の3頁に紹介している「下田夏祭り」に参加しました。いろいろなお店が立ち並び、子どもたちが行列をつくっていましたね。お祭りの最後に花火ショーがあったのですが、間近で見ると打ち上げ花火の迫力ある音は圧巻でした。(卯)



広報 かしば

平成23年8月22日/No.530

発行/香芝市役所 編集/秘書広報課

〒639-0292 奈良県香芝市本町1397番地
☎ 0745-76-2001 (代表)

下記URLの市ホームページでも
広報かしばをご覧になれます。

URL <http://www.city.kashiba.lg.jp/>
E-mail info@city.kashiba.lg.jp

時代の流れとともに移り変わるまち並みや、時を越えて受け継がれてきた変わらぬ風景など、古い写真を随時募集しています。みなさまのご提供をお待ちしています。

詳しくは、市役所秘書広報課までお問い合わせください。

☎76-2001(内線303)



現在のようす

かつらぎの道
(エコール・マミ付近)

昭和48年ごろ
福井さん(穴虫)提供



広告

広告

広告

広告